

# 摂南大学と市で「すももサイダー」開発

## 11月29日、枚方キャンパスでお披露目

◎写真あり

市は摂南大学と共同で、生産量府内一である杉地域のすももを使用した「すももサイダー」を開発した。昨年4月に府内初の農学部が摂南大学枚方キャンパスに開設されたことから同大学と包括連携に関する連携協定を締結。今年6月からすももの収穫や種取り、試作、ラベルデザインなど一連の工程を学生が主導で行い、10月末までに6000本を製造。甘酸っぱいすももと炭酸のさわやかな味わいが楽しめる1本が完成した。11月29日(月)、摂南大学枚方キャンパスで「お披露目会」を開催する。また、12月4日(土)に第39回農業まつりで先着500人に「すももサイダー」または野菜をプレゼントする。

★6月から延べ54人の学生が5回にわたって計355kgのすももを収穫し、収穫した日に種を取り搾汁業者が搾汁。糖度や炭酸の強さを調整するなど学生が試作を重ね、香料や着色料を使用せず、甘酸っぱくすもも本来の自然な風味を味わうことができる1本が完成した。取り組みに参加した学生からは「ひとつの『商品』が出来上がるまでの苦労や達成感を味わう貴重な経験ができた」「これからもこの取り組みがずっと続いて欲しい」などの感想が寄せられている。



▲取り組みに参加した学生

★杉北町には古くから「すもも団地」と呼ばれる地域があり、約80aのなだらかな丘陵地に約100本のすももの木が植えられている。山口農園で栽培されるすももは農薬や化学肥料の使用を通常の半分以下に抑えた「大阪エコ農産物」の認証を受けている。

### ★お披露目会

日時：11月29日(月)午後1時30分  
場所：摂南大学枚方キャンパス内(長尾峠町45)  
出席者：伏見隆市長、萩田学長ほか



### ★第39回農業まつり

日時：12月4日(土)午前9時30分～正午

場 所：ニッペパーク岡東中央

先着 500 人に「すももサイダー」または野菜をプレゼントする。

★来年度以降も継続して製造できるよう販路の確保や拡大する予定。今後も特産物の創出や農産物を活かした商品開発、販路拡大など「農」を活かした産業の活性化を目指す。

<お問い合わせ>

農業振興課 ☎072-841-1348、FAX072-841-1278